記者発表資料

平成２２年１２月７日
仙台河川国道事務所

不法投棄防止のため！

６日に実施した警察と合同パトロールの結果報告

～　廃タイヤの不法投棄は近年５ヶ年では最悪ペース　～

６日、本格的な雪のシーズンを前に冬タイヤへの交換が増え、廃タイヤ等の不法投棄も懸念されることから、名取川水質汚濁対策連絡協議会活動の一環として、宮城県内では初めて河川管理者（国土交通省）と宮城県警察による「名取川不法投棄防止合同パトロール」を実施しました。

パトロール中に発見、回収された不法投棄物の概要を報告します。

今後も警察との連携、協力のもと、継続的に不法投棄防止に向けた取り組みを行っていきます。

※ 名取川水質汚濁対策連絡協議会とは

水質事故の防止・被害の軽減及び河川環境の保全に向け、各関係機関と連携し活動しているものであり、当協議会活動の一環としてゴミの不法投棄対策について、取り組むこととしています。

■６日の合同パトロールの概要

１．　実施月日　平成２２年１２月６日（月）９時３０分～１５時３０分
２．　実施機関　仙台河川国道事務所、仙台南警察署（郡山交番、仙台南交番）
３．　パトロール範囲　別添ルート図参照
４．　実施内容　・名取川及び広瀬川での主要箇所について、パトロール車による合同巡視。
・不法投棄物は回収し、注意看板を設置。

■不法投棄物の発見、回収状況

・回収量：２ｔトラック２台分
・主な回収物

廃タイヤ	６１本（H22.12.6までの回収量は９１本）
冷蔵庫	３台（後日、回収が３台）
テレビ	５台（後日、回収が１台）
浴槽	１個（後日、回収が２個）
座椅子	５個
ベビーカー	１個

■参考（過去データ）

・廃タイヤ　　平成２２年度　１５２本（１２月６日現在）
　　２１年度　１０９本
　　２０年度　１４１本
　　１９年度　１４８本
　　１８年度　　５７本
　　１７年度　１４２本

・不法投棄量と処分費用　平成２１年度　１６７ｍ３　　約５１０万円
　　２０年度　１４７ｍ３　　約４７０万円
　　１９年度　１８６ｍ３　　約４７０万円
　　１８年度　１８２ｍ３　　約４９０万円
　　１７年度　１２３ｍ３　　約４１０万円

・季節的な特徴
　○廃タイヤについては、１２月～１月と３月～４月のタイヤ交換の時期に不法投棄が増加する傾向
　○粗大ゴミ（家電類）については、３月～４月と１０月の引っ越しの時期に不法投棄が増加する傾向

記者発表先：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先
国土交通省東北地方整備局　　仙台河川国道事務所 宮城県仙台市太白区郡山５丁目６番６号 TEL０２２（２４８）４１３１　FAX０２２（３０４）１９０５ 河川管理課長　　畑　山　作　栄（内線３３１） 河川管理課　専門職　　内　田　正（内線３３０）

平成22年12月6日　警察との不法投棄合同パトロール　状況写真









名取川不法投棄防止合同パトロール実施箇所

